ワイドシーラー BIO

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
内装仕上げの制限なし

系　　統	弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー
荷　　姿	14kg
特　　長	・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。 ・エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を有します。
用　　途	建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など
適用素地	コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALC パネル・スレートなど

塗装仕様

工　程			塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/㎡ / 回）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
1	下地調整	新設	・素地を十分に乾燥させる。（含水率 10%以下、pH10 以下） ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。					
		改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa 以上）で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。					
2	下塗		ワイドシーラー BIO	100	0.08 ～ 0.17	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

注 1）吸い込みの少ない活膜などを塗りかえる場合、塗付量目安 0.05 ～ 0.07kg/㎡とし、塗り過ぎにご注意ください。また、塗装間隔目安よりも乾燥に時間を要する場合がありますのでご注意ください。
注 2）下地の吸い込みが著しい場合は 2 回塗りとし、工程内での塗装間隔は 3 時間以上としてください。
注 3）塗装時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラー BIO」＋弱溶剤系上塗の工程でチヂミを生じることがありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

取扱い上の注意事項

●取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋前掛けなど。

●取扱作業場所には、必要に応じて局所排気装置を設置してください。

●溶剤系塗料は、吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、換気を良くし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、必ず保護具を着用してください。

●容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスでふき取るか、砂などを散布したのち処理してください。

●皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。

●目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。

●誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

●取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。

●容器を密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など。

●捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。

●製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。

●詳細な内容が必要なときには、安全データシート（SDS）をご参照ください。
SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。

【ホワイトナー使用上の注意事項】
・ホワイトナーは塩素系製品であるため、酸性タイプの製品と混ざることで有毒性の塩素ガスを発生し、とても危険ですので他の製品と混ざることがないよう、十分に注意してください。
・目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず直ちに流水で15分以上洗い流し、痛みや異常がなくても必ず医師の診断を受けてください。
・飲み込んだ場合は、無理に吐くようなことはせず、コップ1～2杯の水か牛乳を飲むなどの処置をし、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
・皮膚に付着した場合は、直ちに水で十分に洗い流し、異常が残る場合は医師の診断を受けてください。
・使用時は十分な換気を行ってください。目の痛みやせき込み、気分が悪くなった場合は、直ちに使用を止めてその場を離れ、空気の清浄な場所で安静にしてください。

【カビデット使用上の注意事項】
・ホワイトナーによる漂白剤処理後、残剤を拭き取った上で16時間以上の養生を行い、下地が十分に乾燥していることを確認してから、カビデットを塗布してください。
・皮膚に付着した場合は、炎症・かぶれなどを起こすことがありますので、石けん水で十分に洗い落とし異常が残る場合は医師の診断を受けてください。
・目に入った場合は、こすらず直ちに流水で15分間洗い流し、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
・飲み込んだ場合は、無理に吐くようなことはせず、直ちにぬるま湯などで口の中をすすぎ、できるだけ早く医師の診断を受けてください。